

- 問1 日本の特殊な地形や自然環境に合わせた土地利用の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 石灰岩が雨水などで浸食されてできたカルスト地形は、水はけが良いという特徴を活かして果樹園などに利用されることがある。
  2. 北海道では寒冷な気候による被害を防ぐため、スプリングラーによる散水で気温を上げ、主に米の二期作が行われている。
  3. リアス海岸は長い砂浜が続く海岸線であるため、その広大な砂地を利用してジャガイモや根菜類の栽培が大規模に行われている。
  4. カルスト地形は火山灰が厚く堆積してきた地形であるため、水分を保持しやすく、主に稲作を中心とした農業が行われている。
- 問2 先進国間の食料事情を比較した統計において、ある国の穀物自給率は約24パーセントであり、イギリスの約87パーセントと比較して大幅に低い数値を示しています。一方で、一人当たりの年間食品廃棄物発生量を見ると、この国は約40キログラムであり、170キログラムを超えるイギリスの半分以上に抑えられています。この統計が示す日本の食料事情の特徴として正しいものはどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 穀物自給率と一人当たりの食品廃棄物量は、ともにイギリスとほぼ同水準である。
  2. 穀物自給率はイギリスより高いが、一人当たりの食品廃棄物量もイギリスより多い。
  3. 穀物自給率はイギリスより大幅に低いが、一人当たりの食品廃棄物量はイギリスの約4倍に達している。
  4. 穀物自給率はイギリスより大幅に低いが、一人当たりの食品廃棄物量はイギリスの半分以上である。
- 問3 多くの高層ビルが立ち並び、昼間は仕事や通学のために周辺から多くの人々が集まる一方、夜間には居住者が少なくなる都市中心部の土地利用状況に関連して、都心で進められている工夫として適切なものを次の中から選んでください。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 土地の有効利用を促進するため、都心の公園や緑地をすべて取り壊して商業ビルを建設する。
  2. 高い地価を背景とした高層化の流れの中で、オフィスと居住空間を併せ持った複合ビルを建設し、定住人口の確保を図る。
  3. 地価の下落を目的として、都心部にある官公庁や大企業の社屋をすべて郊外へ移転させる。
  4. 経済的合理性を高めるため、特定の時間帯だけ利用される学校施設を都市中心部から排除する。
- 問4 現代の日本の輸入構造において、機械類が約25%を占め、医薬品や衣類なども含めた「製品輸入」の割合が高まっている背景について、正しく説明しているものはどれか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 日本企業の生産拠点が海外へ移転し、現地で生産された部品や製品を逆輸入する動きや、国際的な分業が活発化したため。
  2. 円安の影響によって海外製品の価格が大幅に下落し、国産品よりも海外製品を購入する方が安くなったため。
  3. 日本の主力産業が農業や水産業などの第一次産業へ回帰し、国内での工業製品の生産をすべて停止したため。
  4. 日本が資源大国となり、石油や天然ガスなどの原材料を海外から輸入する必要が完全になくなったため。
- 問5 日本の農業では、農産物の価格を安定させたり利益を上げたりするために、出荷時期を調整する工夫が行われています。ある農産物の統計において、他の多くの都道府県からの出荷量が少ない時期を狙って大量に出荷することを何と呼び、どのような目的で行われますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 閑散期の出荷と呼び、農作業の負担が少ない時期に人手不足を解消しながら効率的に販売する目的
  2. 端境期（はざかいき）の出荷と呼び、供給が不足し価格が上がりやすい時期を狙って有利に販売する目的
  3. 連作障害の回避と呼び、土壌の養分を維持するために収穫時期をあえてずらして販売する目的
  4. 適地適作の出荷と呼び、その土地の気候に最も適した時期に全国一斉に大量販売する目的
- 問6 日本の主な発電所の立地について、火力発電所や原子力発電所が主に海岸沿いに位置するのに対し、水力発電所が特に内陸の山間部に多く建設されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 都市部での電力消費が多いため、送電時の電力ロスを減らす目的で消費地に近い山岳部に建設するため
  2. 海外から輸入される石炭や液化天然ガス（LNG）を、山間部にある専用のパイプラインで直接運び込みやすくするため
  3. 急峻な地形と豊富な降水量を利用して、ダムに貯めた水を高い所から落とすエネルギーを活用するため
  4. 発電の際に発生する大量の熱を冷却するために、周囲に障害物の少ない標高の高い土地が必要となるため
- 問7 日本の輸入総額において上位を占める中国やアメリカ合衆国との貿易について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 中国からは原油や液化天然ガスを大量に輸入し、アメリカ合衆国からは米や麦などの穀物のみを輸入している。
  2. 中国とアメリカ合衆国はともに輸入額が減少傾向にあり、現在はブラジルや韓国が最大の輸入相手国となっている。
  3. 中国からは衣類や機械製品などの工業製品を多く輸入し、アメリカ合衆国からは航空機やトウモロコシなどの農産物を多く輸入している。
  4. 中国からは鉄鉱石や石炭などの鉱産資源を主に輸入し、アメリカ合衆国からは衣類や靴などの軽工業品を主に輸入している。
- 問8 高知県や宮崎県などの産地において、ビニールハウスなどの施設を利用し、本来の収穫時期よりも早い時期に野菜を出荷する「促成栽培」が行われる目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 標高の高い地域の冷涼な気候を活用し、夏の暑い時期に不足する野菜を供給するため
  2. 大消費地である都市の近くで栽培し、輸送にかかる時間とコストを削減するため
  3. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ出すことで、有利な価格で販売するため
  4. 冬の厳しい寒さを利用して、作物の糖度を高めブランド価値を上げるため
- 問9 日本の資源エネルギーに関する分類において、地下の高温の熱水や蒸気を利用する地熱発電と、生物資源を利用するバイオマスは、いずれも「再生可能エネルギー」に分類されます。これらのエネルギー源に共通する特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 地殻変動によって生成された地下資源であり、利用に伴い埋蔵量が減少していく。
  2. 大規模な森林破壊を伴うため、環境保護の観点から利用が制限されている。
  3. 一度利用しても比較的短期間に再生され、資源が枯渇せず繰り返し利用できる。
  4. ハイテク製品の原材料となる希少な金属であり、リサイクルが重要視されている。
- 問10 日本の鉄鋼業などの大規模な工場が、太平洋沿岸や瀬戸内海沿岸の臨海部に集中して立地している主な理由として、適切な説明はどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石や石炭などの原料を海外から輸入するのに、大型船が接岸できる港湾付近の方が効率的であるため
  2. 日本国内の山間部で採掘される鉄鉱石を、鉄道で港まで運び込みやすくするため
  3. 製品を新鮮なうちに届ける必要があるため、近隣の空港から世界各地へ迅速に空輸することを重視しているため
  4. 地価が非常に安く、広大な土地を確保しやすい内陸の原料産地に隣接しているため
- 問11 ある果実の生産状況をまとめた資料において、山梨県が圧倒的な収穫量を誇り、全国の約4分の1近くを占めていることが示されています。この果実が山梨県の盆地の縁などで多く栽培されている理由として、地理的な背景から最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 低湿地で保水力が高い土壌が、果実の成長を促すため
  2. 傾斜地や扇状地は水はけが良く、日照時間が確保しやすいため
  3. 夏の降水量が非常に多く、湿潤な気候が栽培に適しているため
  4. 平坦な広大な土地により、大型機械を導入した効率的な生産が可能のため